令和7年3月1日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立岩成台西小学校

校長 佐々木 利江子

事業テーマ	自他を大切にする児童の育成 ～「ひと」とのかかわりを通して～	
取組の目的	本校の児童は明るく元気で、まじめに学校生活を送る児童が多い。一方で、友達との関係で傷ついたり、悩んだりする場面が多く見られる。他者とのかかわり方に戸惑い、不安をもつ児童が少なくない。そのため、学校全体でソーシャルスキルトレーニング（以下SST）に取り組むことで、自己肯定感を高めてきた。 このSSTの取り組みの成果を基に、他者と自信をもってかかわることができるように重点を置く。さらに、「ひと」とかかわる機会を増やすことで、自分とともに他者を大切にすることができる児童の育成を図る。	
区分 (○印を付ける)	☒ 新規事業・継続事業（総事業年数3年間1年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容		
事業名	事業内容	実施時期
○「ひと」とのかかわりを重視した授業・活動	○ スマイルタイム ○ Q-Uテスト ○ あすチャレスクール (障がい者スポーツの体験) ○ 書の共同作品作り	通年 6月・11月 10月 12月・2月
取組の成果	本校の特色を一言で表すと「あたたかい学校」である。児童と児童、児童と教師、児童と地域があたたかい関係である。その礎はSSTの取り組みであり、「ひと」とのかかわりを重視してきたからである。それらの積み重ねによって、現在の本校の状況にあると考えられる。より一層、自他を大切にすることができる児童を育成するために、「ひと」とのかかわりを重視した授業・活動の実践に努めていく。	
課題	子どもたちが互いを思いやることはできるが、相手を意識しすぎてしまい、考えすぎたり、悩んだりする場面が見られ、自分への自信のなさが感じられる。「ひと」とのかかわりを重視した活動をもとに、子どもたちが自信をもって活動することができるような授業づくりに、学校全体として取り組んでいきたい。	